

万博計画具体化検討ワーキンググループ 有識者一覧

資料 2

※五十音順、敬称略

木村 麻子 一般社団法人全日本伝統文化後継者育成支援協会 代表理事

日本の伝統文化に関わる社団法人を3社運営。女性の感性と国際的、経営的視点で、地域資源や伝統の価値をリブランディングし、大手企業のCMや新商品・コンテンツ開発など企業と伝統文化を繋ぐコーディネーター、アドバイザーとしても活動。経営者1600名から選出され『ニュービジネスコンテスト準グランプリ』『国際文化芸術振興賞』受賞他多数。

河野 俊行 九州大学法学研究院主幹教授

1981年 京都大学法学部卒業。1997年より現職。現在国際イコモス会長。

中川 雅永 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 常務理事

都市再生機構でニュータウン開発、都市再生プロデュースに携わった後、2017年より現職。けいはんな学研都市の新たな都市創造プランの実現に向けた総合コーディネートに従事。技術士-建設部門（都市及び地方計画）。登録ランドスケープアーキテクト。

野村 将揮 タボス会議 Global Shaper

東大文一、同文学部(哲学解釈)、在学中の国家公務員試験(経済)合格を経て経産省入省。ヘルスケア産業課等を経て2018年11月より医療AIスタートアップAillis Inc.執行役員。また、人類のWellbeingを再定義するLIFULL財団でChief of Staffを務める。サンガレン・シンポジウム“100 Leaders of Tomorrow”選出、東大総長賞団体受賞(会長在任時)、剣道歴23年(四段)ほか。哲学者志望。

平田 晃久 京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授

1997年 伊東豊雄建築設計事務所に入所。2005年 平田晃久建築設計事務所を設立。
2015年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻准教授、2018年より同大学院同科同専攻教授。

松浦 竜太郎 株式会社乃村工藝社 クリエイティブディレクター

2001年乃村工藝社に入社。空港、ミュージアム、ホテル、商業施設などの環境や空間デザインを国内外で数多く手掛ける。2015年 香港「40 UNDER 40」アワードにて「アジアで活躍する40歳以下のデザイナー40名」に選出される。福岡空港国内線環境、パナソニックミュージアム ものづくりイズム館、阪急メンズ東京など、公共空間から商業施設までクリエイティブディレクターとして様々な場づくりに携わる。

山本 佳誌枝 山本能楽堂 事務局長

大坂城近くの山本能楽堂を中心に、能楽の普及と継承につとめる。2002年から大阪市、大阪商工会議所、大阪観光局とともに、能だけでなく文楽、落語、講談などの上方伝統芸能を貴重な地域遺産として捉え直し「芸能の都・大阪」を発信。大坂城とブルターニュ大公城友好城郭提携記念等 海外公演も毎年開催。外務大臣表彰等受ける。SDGsの達成に向けた能の作品も制作し高い評価を得る。

吉田 憲司 国立民族学博物館 館長

京都大学文学部卒業、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。学術博士。大阪大学助手、国立民族学博物館教授などを経て、2017年より現職。博物館人類学専攻。アフリカを中心とした儀礼や宗教の研究を進めるとともに、ミュージアム（博物館・美術館）における文化の表象のあり方を研究している。主な著書に『文化の「発見」』、『宗教の始原を求めて』など。